

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 平成 27 年 10 月 21 日（水） 10 時 00 分～16 時 47 分
- ◎ 開催場所 議員室
- ◎ 説明員 藤本健康医療福祉部長、桑山土木交通部長、笠間警察本部長、笹田病院事業庁長および関係職員

◎ 議事の概要

1 議第126号、議第127号、報第8号、報第10号および報第11号について

【健康医療福祉部および病院事業庁所管分】

委員からは、医師確保については滋賀県で働く医師が滋賀県は良いと思ってもらうようにすることが大事である、救急医療の補助金を受け取りながら患者の受け入れ拒否をしている病院については現状を把握して相応のペナルティを科して然るべき、乳幼児死亡率については全国平均に比べると高いという認識を持ち、高齢出産が増えていることもあることから力をいれて対応されたい、介護人材については今後需要がふえる見込みであり、待遇などの労働条件を改善するよう県としても取り組むべき、認知症についてはいざというときどこに相談していいのかもわからないというのが実態で、相談窓口がもっと周知されて身近であるべき、などの意見が出された。

【警察本部所管分】

委員からは、通学路における児童・生徒の交通安全対策事業に係るおうみ通学路交通アドバイザーについては、通学路における危険箇所の発見が大変重要な役割であるが、それに加えて、例えば住宅街などで日常的に無謀な運転を繰り返す車の通行があるなど、周辺住民が普段から気づいている情報の収集ができるような仕組みをこの中に入れていけば非常に有意義な成果が出るのではないかと、などの意見が出された。

【土木交通部所管分】

委員からは、ビワイチなどの観光振興により自転車を利用する観光客は増えているが道路整備が追いついていないなど、観光行政と道路行政の一貫性がないのではないかと、情報システムの更新や機能向上だけの業務でかなり高額な委託料を支払っているが著作権を理由に随意契約しかないとなると、どうしても相手の言い値になってしまう。他府県の事例も調べてもう少し工夫ができないか考えてほしい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）健康医療福祉部
- 2 平成 26 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）健康医療福祉部
- 3 決算特別委員会部局別資料（平成 25 年度病院事業会計決算）病院事業庁
- 4 病院事業資本剰余金の処分について
- 5 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）警察本部
- 6 平成 26 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）警察本部
- 7 決算特別委員会部局別資料（平成 26 年度歳入歳出決算）土木交通部
- 8 平成 26 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）土木交通部